

FJcloud-O VM移行手順例（1）



サポートが終了したOSからサポート期限内OSへのVM移行手順例

1

既存VMのバージョン確認

既存VMのOSバージョンを確認し前項のサポート切れOSか確認します。

コマンド例)

- Linux VMの場合

```
cat /etc/os-release
```

または

```
cat /etc/<distribution>-release
```

※ <distribution>の箇所はOSによって異なります

- Windows VMの場合

```
systeminfo
```

2

既存VMのデータバックアップ

必要に応じて、移行前のVMのデータバックアップを残しておきます。

機能説明書にある活用できる機能

- [スナップショット機能](#)
- [バックアップ機能](#)

※ どちらも課金対象機能です

- [料金表](#)

3

OSイメージの選択

移行先VMに用いるサポート期限内のOSイメージを選択します。

- [サポートOS一覧](#)

※OS選定の際はミドルウェアやアプリケーションとの互換性確認が必要です

サポートが終了したOSからサポート期限内OSへのVM移行手順例

4

移行先VMの新規作成

3で選択したOSイメージからVMを作成します。

機能説明書

- ・ [仮想サーバの作成／削除](#)

Tips

ポートを付け替えることでIPアドレスを変更せずVM作成が可能です。

- ・ [ポート管理](#)

5

移行先VM上の設定・構築

新規VM上で、必要に応じてOS設定・ミドルウェアやアプリケーションのインストール・データ移行を実施します。

Tips

ストレージを利用した一部データの移行も可能です。

- ・ [ブロックストレージ](#)
- ・ [オブジェクトストレージ](#)

※ どちらも課金対象機能です
・ [料金表](#)

6

移行元VMの停止・削除

サポート切れOSを使用するサーバの停止・削除を行います。

機能説明書

- ・ [仮想サーバの運用操作](#)
- ・ [仮想サーバの作成／削除](#)

※シャットダウン状態の仮想サーバは課金対象となります。課金対象外にするには仮想サーバを「解放」する必要があります